

## 令和7年度釜石市地方創生アドバイザー開催結果について

日時：令和7年11月18日(火)16:00～17:30

会場：ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区神田錦町 3-21）

出席者：地方創生アドバイザー 11名

釜石市：小野市長、中村総務企画部長、オープンシティ・プロモーション室

内容：第3期釜石市人口ビジョン・オープンシティ戦略の進捗状況について

次第 1 開会 2 市長あいさつ

3 協議・意見交換 第3期釜石市人口ビジョン・オープンシティ戦略の進捗状況について

4 閉会

### 【議事録】

#### OCP 室長から資料について説明

##### 枝見 AD

- ・今釜石市で子どもを産めないのが現状であり、子どもが産めない街に子育て世帯は来ない。助産院の誘致を行うべき
- ・具体的な施策、例えば「家賃10年間無料」などインパクトある施策を発信し、「釜石に来て子どもを産みましょう」と周知をすべき
- ・北区・江東区では「民」主体の仕事連携がトレンドになっており、条例などに盛り込むことで税を使わない解決を図っている
- ・釜石は魅力的な街だが、魅力を伝えるための情報発信がイマイチ。
- ・釜石は何でもできる・挑戦できるが最大の魅力だが、今はそれが薄れている。思い切って釜石で新たに挑戦する人たちへ「行政が投資します」と言い切ってもいいのでは
- ・鹿との衝突や雨・風で運休しがちな釜石線だが、日本で三番目に鉄道が開通した歴史があり、鉄道にもスポットライトを当ててもいいのでは。今全国的に鉄オタと言われる方々による経済効果が凄い

##### 藤沢 AD

- ・仕事に関して、仕事が無いと人が離れていく。深堀し、分析評価をする必要がある
- ・デジタルで今ある仕事をどうやって発信していくか。仕事はデジタルで成り立っている。デジタルで求人票が作成されているのか、作成されているのであればそれが発信されているのか、届いているのか分かりづらい
- ・現在福島で350事業者を紹介している。釜石単体で行っていくにはそろそろ限界を感じている。大槌町や大船渡市など隣接している自治体とタッグを組ながら進めて

いくのが良いと思う

- ・事業者紹介を含め、「三陸オープンシティ」を見据えた広域連携に挑戦してみても

#### 青木 AD

- ・今回、市から女性職員が出席しておりとても良いと思った
- ・同性・同年代が集まりすぎると見えるものも見えない
- ・女性の釜石での住みやすさは戦略でカバーされていると思う
- ・団塊世代と言われる 76~79 歳が集団で旅行する機会が大幅に減ったことで観光人口が減ってきている
- ・観光分野に手間ひまかける必要はない
- ・真のつながり人口として寄附・労働につながる人を目指すべき。ただ観光等で来る人は重要ではない
- ・農作業はとても重労働であり、都市部では身体を動かしたい若者がたくさんいる。そういう人たちと農家をマッチングさせるのも良いと思う
- ・もっと釜石らしさアピールしていったほうが良いと思うが、全国で競争しても仕方ない。ニッチの場で勝負すべき
- ・市内に人々を呼び込むために、給料高くしたり、福利厚生を良くするのも 1 つの方法だが、後々苦しくなるだけ
- ・アンケートを実施する際はプレゼントを用意すると効果的

#### 吉野 AD

- ・釜石は人口減少率県内ワーストであり、西和賀町、田野畑村や住田町と同じグループに入っている。なぜ釜石が？減り方が激しく尋常でない。
- ・釜石らしさとして良くも悪くも都市である。三陸沿岸の中で一番都市的と感じている。インフラも整備されておりとても魅力的
- ・岩手沿岸で海上保安庁の拠点があるのは釜石だけ。もっと海上保安庁を巻き込むべき
- ・幸桜の北上市の店舗は閉めてしまったが、釜石の店舗は 130 年営業している老舗である。他の都市には魅力がある。幸桜の歴史の厚みを知っている人がいるのか。もっと幸桜にもスポットを当てていくべき
- ・釜石にはシーウェイブスがある。あの規模のスポーツチームを持っているのは希少
- ・ロクシタンが釜石を応援しているのも希少だが、釜石はロクシタンについてもアピール力が本当に弱いと感じている
- ・5 年かけてもいいと思うので、それぞれの魅力を知ってもらう機会を創出してみても
- ・海のイメージが弱い。昔は観光船はまゆりがあり、船に気軽に載れる機会があったが、今は気軽に乗れる船がない。海のまちを PR してみてもどうか。オープンシティ戦略に掲載されていない

- ・海をどのように活用していくのか

#### 玄田 AD

- ・良く頑張っている
- ・たくさん挑戦して、失敗してほしい
- ・全国的に人口は減っているが、労働人口は7,000万人を越えた。実は70歳以上の雇用が多い
- ・オープンシティ戦略は若者にスポットを当てているのはいいが、シニアをどう使い倒すか
- ・釜石の高齢者は使える
- ・シニア人口、アクティブ人口など新たに作るのもいい
- ・子どもは産めないが、子育てはできる街として年寄りが子どもをみて、若者は働け

#### 小安 AD

- ・何が課題、何に困っているのかわからない
- ・戦略に掲げた事業を全部やったからといって良い街になるのか
- ・何を目指しているのか伝わってこない
- ・これ以上人口は増えないと決めている市町村が多いが、釜石は人口を増やしたいのか
- ・諍うと言っておきながら子育て事業が入っていない
- ・他の市町村では、安心して産める環境があるとアピールしているが、釜石も分娩できる環境がないなりに、安心して子育てできるなどアピールが必要
- ・若者応援事業について、若い方の意見も大事なので若いアドバイザーを入れるのもいいのでは
- ・市の縦割りが良くない

#### 横田 AD

- ・二人の若い方に話を聞いたことがあり、1人は地元で働くには給料が低いから今釜石に戻るの厳しい。でもいずれは帰りたい。もう1人の方は地方創生に関わりたく、コロナ前のワークショップで様々な知見を持った大人と話しすることに魅力を感じていたが、今はそのような機会もなく、魅力的に感じないため帰らないと話していた
- ・つながりの魅力が今はとても薄いと感じている
- ・企業版ふるさと納税は上手にやると企業側もうま味があり良い制度なので、愚直に進めていけば良いと思う
- ・日鉄興和不動産は財閥系の不動産会社への転職者が多いことから、みずほGと協力して研修に力を入れている
- ・オカムラもネマルポートを積極的に使いたいと思っているが利用できていない
- ・北海道東川町ではふるさと納税寄附企業とパートナーシップを結んでいる。来年も寄

附しないとと思わせる良い方法だと思う

#### 佐藤 AD

- ・阿部恭子様を描いて頂いた釜石の四季を新市庁舎へ寄贈することとなった
- ・防災について ASEAN と交流できればいいなと思った
- ・市民が行う手続きを簡易的にデジタルへ移行しなければいけないと思っているが、デジタルに対応できない高齢者に対してどう対応するの課題
- ・世界人口は停滞状態。小さい街なりに何かするべき
- ・市長と若者の対話の実現
- ・若者には釜石市を自分たちで作っていくという意識を持ってほしい
- ・なんでもできる街＝釜石だったが今は感じられない
- ・KPI がどう効果があったかモニタリングをしているのか。達成された要因は？
- ・人口減の原因は産業。大企業の誘致が必要
- ・鉄の街からマグネットの街。みんなを引き寄せる街づくりをしてみても
- ・オープンシティ戦略と5ヵ年計画との関係性が見え難い